

# 鈴鹿医療科学大学 紀要投稿規程

## 1. 投稿の資格

鈴鹿医療科学大学（以下本学という。）教職員及びその共同研究者（学生を含む。）又は本学紀要委員会（以下「委員会」という。）の推薦を受けた執筆者とする。

## 2. 研究倫理・利益相反

本誌に投稿する論文等は、研究倫理・利益相反等に十分配慮し、関連する諸法規・指針等に則ったものでなければならない。

## 3. 著作権

本誌に掲載された論文等の著作権は本学に帰属する。

## 4. 投稿原稿の種類

原稿の種類としては、寄稿、総説、原著論文、事例研究、研究報告、研究紹介、活動報告、論説・見解・意見、書評等とする（「投稿原稿の種類例（英語名）」ページ参照）。投稿原稿は未発表のものに限る。

## 5. 査読等

原著論文、事例研究については3名以上の、その他の種別の論文については2名の査読者による査読を行う。また、必要に応じて再査読を行う。著者は査読者の意見に従い修正、あるいは再修正を行う。内容に関しては著者の責任とする。

## 6. 投稿の方法

投稿原稿は、原則として **Microsoft Word** の文書ファイルとして作成したものを委員会事務局にメールに添付し送付するものとする。

## 7. 原稿の記載方法

### ①表題・著者名等

本文が和文及び英文にかかわらず、下記項目を和文、英文でそれぞれA4判1ページに記載する（「和文要旨記載例」または「英文要旨記載例」ページ参照）。

#### 1) 投稿の種類

#### 2) 表題・著者名・所属

#### 3) キーワードと要旨[キーワードは5語程度。要旨は和文で300～400字程度、英文で200語程度（1,000字程度）とする。]

【和文原稿の場合】和文要旨は表紙、英文要旨は最終ページに記載する。

【英文原稿の場合】英文要旨は表紙、和文要旨は最終ページに記載する。

### ②本文

#### 1) 原稿は和文または英文とする。A4判横書きの1段構成とし、文字については和文が明朝体

10.5 ポイント、英文が 12 ポイント、プリンター印字のみとする。英文原稿はダブルスペースで入力・印字する。

2) 原稿の長さは、次のとおりとする。

・総説・原著論文

本文 8,000 字程度まで、写真・図・表で計 10 個以内

・事例研究・研究報告・研究紹介

本文 6,000 字程度まで、写真・図・表で計 7 個以内

・その他論文

本文 3,000 字程度まで、写真・図・表で計 3 個以内

(参考) 約 1,800 字で組上り 1 ページにほぼ相当する。

3) 数量の単位は国際単位系 (S I) とする。

4) 原著論文及び研究報告等の本文には、原則として、要旨・目的・方法・結果・考察・文献の順で記載する。ただし、必要に応じて適宜変更してもよい。

### ③図表・図版

1) 図 (写真を含む。以下同じ。) は、本文とは別紙 A に Figure 1 等の番号を付して貼付するものとし、本文には挿入する位置に番号のみ記すこと。

2) 図の標題と説明は、1) の図を添付した別紙 A には含めず、別紙 B に「図の説明」として記載すること。

3) 表は、本文とは別紙 C に番号、標題、表、説明文の順に記載し、本文には挿入する位置に番号のみ記すこと。

4) 図版は、直接製版するので写真プリントかそれに準ずるものとする。

5) 図表の標題と図表内の文字は、可能な限り英文で記すこと。

### ④文献の記載方法

本文での引用の記載方法は引用順に数字を括弧内に入れて示すこと。引用文献は本文の終わりに本文での引用順に記すこと。引用文献リストの頭に引用順と同じ番号を付けること。引用文献の表記形式は下記のとおりとする。ただし、表示形式が異なる分野に関しては、その分野の慣例を優先する。

1) 雑誌の場合

記載方法は次のとおりとする。著者名・タイトル・雑誌名(省略形)・発行年(西暦)；巻数：開始頁－終了頁。

\* 著者が 6 名以内の場合は、全員の著者名を記入する。著者が 6 名を超える場合は 6 名のみ記入し、以下は“他”, “et al.”とする。

\* 雑誌の略名は、例えば医学関係では、外国雑誌は Index Medicus、邦文誌は「医学中央雑誌」に準拠する。

\* 雑誌の号数記入が必要な場合は巻数の次に (号数) に挿入する (基本的には号数は記入しない)。

<記載例>

- 1) 市川 肇, 山田友紀, 澤根康裕, 寺部充昭, 小野孝明, 西川宗範, 他. 低格子比グリッドを用いた腹部ポータブル撮影における散乱線補正処理の有用性. 臨床技術. 2019; 375: 885-891.
- 2) Guilbert TW, Morgan WJ, Zeiger RS, Mauger DT, Boehmer SJ, Szeffler SJ, et al. Long-term inhaled corticosteroids in preschool children at high risk for asthma. N Engl J Med. 2006; 354: 1985-1997.

## 2) 単行本の場合

### 【分担執筆】

著者名. 標題. 書名 (編者名), 出版社, 発行地, 開始頁-終了頁, 発行年 (西暦).

<記載例>

- 1) 三宅一徳. 一般的臨床検査. 標準臨床検査医学 (第2版) (猪狩淳, 中原和彦 編), 医学書院, 東京, p14-26, 2001.
- 2) 日本太郎. 大脳基底核の神経回路 (第4章, 不随意運動). 脳神経外科学体系 (全15巻, 山浦晶 総編集), 第10巻「定位・機能神経外科」(片山容一 編集), 中山書店, 東京, 132-141, 2005.
- 3) Weinstein L, Swartz MN. Pathologic properties of invading microorganisms. In: Pathologic Physiology: Mechanisms of Disease (Sodeman WA, Wilkinson M, eds), Saunders, Philadelphia, 457-472, 1974.
- 4) Wiesendanger M. Organization of secondary motor areas of cerebral cortex. In: Handbook of Physiology. Section I: The Nervous System. Vol. II: Motor Control Part. 2 (Brooks VB, ed), American Physiological Society, Bethesda, p1121-1147, 1994.

### 【個人著者】

著者名. 書名. 出版社, 発行地, ページ数, 発行年 (西暦).

<記載例>

- 1) 檜学, 島久洋. 医学概論—医学の進歩と医の倫理—. 朝倉書店, 東京, 255 ページ, 1995.
- 2) Colson JH, Armor WJ. Sports Injuries and their Treatment. Paul, London, p350, 1989.

\* 著者が3名以内の場合は、全員の著者名を記入し、著者が3名を超える場合は3名のみ記入し、以下は“他”, “et al.”とする。

## 3) Web サイトからの引用

サイト名 [Internet]. 発表機関所在地: 機関名; 発表年月日 [cited アクセス年月日].

Available from: サイト URL. (発表年月日は分かる範囲でよい)

(例) 難病情報センター. アレルギー性肉芽腫性血管炎 [Internet]. 東京: 厚生労働省; 2010 Feb 5. [cited 2011 Jan 11]. Available from: <http://www.nanbyou.or.jp/sikkan/005.htm>. Japanese.

## ⑤プロフィール (「プロフィール記載例」ページ参照)

全著者について、下記項目を記載する。

- 1) 現職名、学位
- 2) 経歴 (学歴、職歴)
- 3) 専門

## 8. 原稿の採否

投稿原稿の採否及び種別は委員会で決定する。

## 9. 校正

- ①著者校正は原則初校のみとする。
- ②原則として原文の変更は認めない。

## 10. 本規程の改廃は、大学協議会の議を経て学長が行う。

### 附則

この規程は、平成30年3月20日に改正し、平成30年4月1日から適用する。

### 附則

この規程は、令和元年10月29日に改正、施行する。

### 附則

この規程は、令和2年3月17日に改正、施行する。

### 附則

1. この規程は、令和2年7月21日に改正、施行する。
2. 委員会名称の変更については、令和2年4月1日に遡って適用する。

### 附則

この規程は、令和3年4月20日に改正、施行する。

### 附則

この規程は、令和4年4月26日に改正、施行する。